



「先手必勝」

校長 尾崎 淳一

12日付けの第10号で、「知立・刈谷地区中学校選手権大会」に向けて、**「心」**を磨くことをお薦めしました。そもそも素直な竜北生の皆さんですから、この1週間でさらに心を磨き、夢へと大きく近付いたと信じています。

さて、スポーツには相手と向き合い、直接に技を競う競技と、自分のベストを尽くして、相手の得点や出来栄えと比較する競技があります。野球、サッカー、バレーボール、剣道など、部活動にある多くの種目は前者です。陸上や弓道は後者でしょうし、本校の部活動にはありませんが、水泳や体操競技、ボウリング、ゴルフも同じでしょう。

特に、相手と対峙（たいじ＝二者または複数に向かい合う状態）する前者のような種目で、勝利へのポイントとなるのは何でしょうか。私は、**「先手必勝」**という言葉があるとおり、相手よりも先に得点することが大切で、特に格上相手と対戦するには必須条件と考えます。私の愛するソフトテニスは、中学生の試合の多くが**「5ゲームマッチ」**で行われ、**3ゲームを先取すれば勝利**となります。また、ゲームカウントが「2－2」となった場合の第5ゲームは**「ファイナルゲーム」**と呼ばれ、それまでは4ポイントで1ゲーム獲得できるのですが、これは7ポイントが必要となります。多くのポイントを積み重ねる分、勢いだけでは押し切れず、たいていは強い方が「ファイナルゲーム＝勝利」を手にします。

ソフトテニスの5ゲームマッチにおいては、第1ゲームを取れば、「G 1－0」となります。これは言い換えれば、「2ゲーム続けて取られなければ逆転されない」ということなので、精神的にはかなり有利です。野球やサッカーであれば、「1－0」のまま試合終了ということもありますね。竜北チームが**「先手必勝」**の強い気持ちで試合に臨み、一日でも長い夏を仲間と過ごせることを願っています。

話は変わりますが、皆さんもご存じのように、私は**「竜北生公式ファンクラブ」**の名誉会員です。いつも応援していますが、校内を歩いて授業中に声を掛けるわけにはいきませんし、集会などで個人的に話すことも不可能です。ですから、竜北生の皆さん、素敵な話があれば、ぜひ校長室へお越しください。今年度の4月からこれまでに、**なんと3人も竜北生**が担任教師と一緒に報告や依頼に訪れ、とても嬉しく思っています。でも……、月平均わずか1名です……。ぜひ、**校長室の超高級本革ソファ**にて、お話をしましょう！

今週は突然の猛暑到来となりました。これまで以上に、体調には気を配ってくださいね。**竜北生一人一人の「命」は、何にも替えられない宝物**ですから。**「竜北生、Go!!」**



まだ6月というのに、急に暑さが厳しくなりました。教室では冷房が使えるので安心ですが、屋外での活動には細心の注意を払ってまいります。WBGT（熱中症指数）等を参考にして、活動を短縮したり中止したりすべき事態を予想していたところ、昨日は早速、運動場等での部活動を中止としました。今後も、保護者の皆様に突然の対応をお願いする場合には、きずなメール等で連絡を差し上げますので、ご理解とご協力をお願いします。

私が可愛い子どもだった昭和末期、30℃を超えると猛暑と感じました。今では30℃と聞くとなぜか涼しげでほっとします。気候も人の感覚も変わってしまいましたね……。